



2学期スタート!

8月18日(火)に2学期始業式が行われました。校長先生の講話を紹介します。

「心あたたかな南宮中をめざして」

今日から2学期がスタートします。みなさんの元気に登校してくる姿を見て、校長先生はたくさんの方の力をもらいました。

この夏、新型コロナウイルスに関わっての様々なニュースが飛び交っています。ニュースに触れるたび、人間のもつ二つの心を感じます。

①冷たい心 誹謗中傷、いやがらせの心

一つは「冷たい心」。これは、誹謗中傷・いやがらせの心です。誹謗中傷というのは、根拠のないうわさ話や悪口を言いふらし、相手を傷つけることを言います。最近ではインターネット上に匿名で書き込むことも多くなりました。感染した人は誰だと特定しようとしたりまるで感染した人が悪いことでもしたかのように攻撃したりといったことです。皆さんも県外ナンバーの車や医療に携わっている人への差別的な言動について知っている人もあるかと思います。そのなかの一つを紹介します。

「なんでこの時期に東京から来るのですか?知事がテレビで言ってるでしょうが!!知ってるのかよ!!良い年して何を考えてるんですか?この通りは小さい子も居るのです。そして高齢者もです。さっさと帰って下さい!!皆の迷惑になります。安全だと言い切れますか?」

この貼り紙は東京の人が青森の家に帰ったときに玄関先にあったそうです。君たちはこれを見て何を感じますか?

②温かい心 励まし、応援する、思いやりの心

もう一つは、温かな心、その人のことを心から励まし、応援する、思いやりの心です。

(1)本田選手のツイッター

最近、ある高校のサッカー部で大規模な集団感染が発生しました。先ほどお話したような批判やいやがらせが多数あるなかで、元サッカー日本代表の本田圭佑選手は自身のツイッターに

「〇〇高校、及びサッカー部の皆さん、コロナ感染に関して謝罪する必要なんてないよ。対策してても感染する確率を0にはできんから。それより熱とか体は大丈夫?今はしっかり食べて休んでな。また治ったら夢に向かって頑張れ。非難してる人だけでなく、心配してる人も沢山いることを忘れんといて」と綴っています。

(2)シトラスリボンプロジェクト

もう一つ。これはシトラスリボンプロジェクトのHP(HPを提示)です。ウィルスの感染から回復した方が、偏見や差別なく社会に受け入れられる、「ただいま」「おかえり」って互いに言い合える人の輪をめざして愛媛のたった6人のグループが始めたプロジェクトです。私も紹介動画を見て一つ作ってみました。緑の三つの輪(家庭、地域、学校(職場))をつないで差別をなくそうというこの運動は、今、少しずつ日本各地に広がるようとしています。「ただいま」「おかえり」って何気ない言葉ですが、



互いの存在を認める、あなたのことを大事にしているよという温かなメッセージだということ
を改めて実感しました。

誰の心のなかにある二つの心

人間のもつ二つの心、これは何も2通りの人間がいるという話ではないんです。一人の人間の心のなかに、二つの心があるということです。私の心の中にもあります。時と状況によっては人に温かく優しくもなれるし、逆に、冷たくもなる、根も葉もない噂話をして楽しんでいる自分、何かどす黒いものが心のなかでうずまいていて自分がいる。それは噂話などに負けてしまいう弱い心です。偏見や差別の芽、排除の意識です。油断すると知らず知らずのうちに心のなかで大きくなってしまいます。だから、自分の中にそういった差別の意識、つい噂話にのっかっている気持ちがありはしないかと、いつも自分自身をチェックし自分に問いかけながら生きる、そんな強い心の人になってほしいと思います。

最もつらく苦しい思いをしている人は誰なのか？

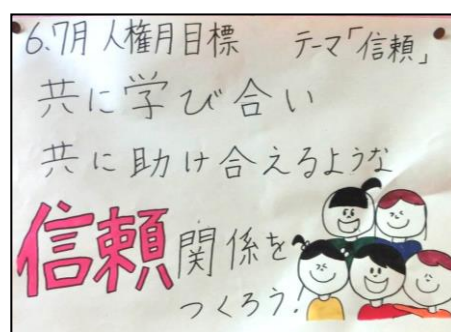
今回、南宮中でも新型コロナウイルスへの感染が認められ、突然の臨時休業をお願いすることとなりました。皆さんのなかには、驚いたり不安になったりした人も多かったことでしょう。中体連の大会に出られなくてつらかった人や夏休みにもかかわらず外出を控えるよう言われて切なかった人もいたでしょう。でもこの夏、最もつらく、最も苦しい思いをしている人は誰なのでしょう？ そしてそれはどんなつらさ、苦しさなのでしょう？ 考えて見て下さい。その上で、その人が安心して学校生活が営めるようにするには、君たちはどのような気持ちで行動するのがいいのでしょうか？ そのところもよ〜く考えてほしいと思います。先ほど話した二つの心のうち、皆さんはどちらの心を育てていくか、ということです。

新型コロナウイルス感染症の症状には個人差があり、皆さんもご存じのように無症状の人もいれば重傷になる人もいて、完全によくなるまでには人によって差があることを知っておいて下さい。退院してすぐに仕事に復帰できる人もいれば、退院した後もしばらく療養が必要になるという人もいます。また退院するという事はもう他の人に感染させる心配がなくなったということも保健所の方から聞いています。「もう出てきて大丈夫なの？感染しないの？」と心配してくれる人もいるかもしれませんが、校長先生がそこはしっかりと確認していますので皆さん安心して下さい。

思いやりの気持ちあふれる南宮中学校に

これ（右）は1学期に行った人権月間のポスターです。「共に学び合い共に助け合えるような信頼関係をつくろう」と書いてあります。添えてあるイラストの顔はみな笑顔です。南宮中の皆さんは、学び合うこと、助け合うことをとても大切にしてくれています。

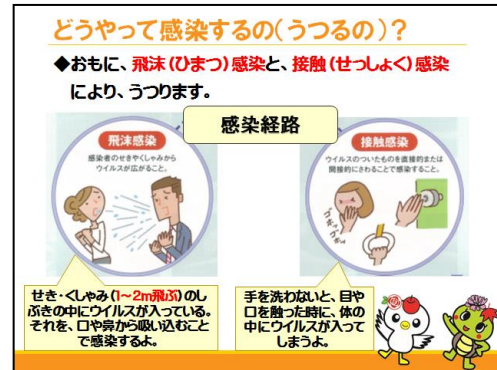
どうか、温かく互いを包み込んで、さらに思いやりの気持ちあふれる南宮中学校を創り上げていってほしいと願っています。この学校でよかった、この仲間でよかったと、あとで振り返ったときに、南宮中学校の人権感覚はすごいな！と誰もが思えるような、この南宮中から温かな輪を広げていってほしいと思います。



中野市健康づくり課・保健師による健康教育教室 ～ 8月19日・20日・21日～

朝読書の時間を利用して、全校一斉に健康教育教室（ライブ放送）を行いました。3つのテーマ（①新型コロナウイルスとは？②新型コロナウイルス感染症を防ぐためにできること③コロナ疲れしていませんか？みんなでみんなを守りましょう）で学習する機会となりました。

生徒が感染症を正しく理解し、感染症対策について自分から判断して行動できるよう願っています。



第55回蒼龍祭の開催について

本年度の蒼龍祭は新型コロナウイルス感染防止に十分配慮しつつ、

10月2日（金）の1日間（午後のみ）で規模を縮小して開催の予定です。

「体育館に全校生徒が集まって長時間活動する」ということを可能な限り避け、内容や時間を制限し、教室でのライブ配信と組み合わせる形での開催を計画しています。また、感染症拡大防止のため、**来賓、保護者及び一般の方の入場をお断りすることといたしました。**大変残念ではありますが、ご理解のほどよろしく願いいたします。詳しい日程については、決まり次第お知らせします。

☆☆☆ 通知票の出欠席について ☆☆☆

◆令和2年6月16日付の文部科学省の通知や市教委からの指示で、新型コロナウイルス感染症対策として出席停止の基準が変わり、本校では6月17日から適用することとしました。従って、今までは『かぜ』『発熱』などの理由が通知票に記載されておりましたが、かぜ症状で欠席した場合、『出席停止』で記すことになりました。ご理解いただきますようお願いいたします。

◆文部科学省から「学校の新しい生活様式」(8月6日付)の通知が出されたことに伴い、

出席停止扱いになる場合は、以下の場合になります。該当する場合には、学校(22-2365)へご連絡をお願いします。ご理解ご協力のほど、よろしく願いいたします。

①同居の家族に発熱等のかぜ症状がみられるもの(レベル2, 3の地域)

※レベル2, 3の地域では、同居の家族にかぜ症状が見られる場合も登校を控えていただくようお願いいたします。

②同居の家族が感染者となった場合

③生徒本人に発熱等かぜ症状のある場合(発熱が続いたり、かぜの症状が改善しなかったり、通院してPCR検査等を受けた場合)

④生徒が感染者・濃厚接触者となった場合

学習指導補助員 久保 靖子 先生 よろしくお祈いします！

新型コロナウイルス感染症対策のため、学校再開後に行う児童生徒学習支援事業として、2学期から、久保靖子先生をお迎えすることになりました。英語のTT指導（午前中2時間）や放課後学習の指導（当面は3年生対象。主に水曜日）をしていただきます。よろしくお祈いします。

★9月1日(火)から、部活動を再開します。各部の計画は顧問から配付される予定表でご確認ください。なお、2学期から、ノ一部活デーは水曜日になります。

◆◆◆ 授業進度について ◆◆◆

4月と5月の臨時休業の影響で例年より授業の遅れが生じておりますが、行事の中止や夏休みの短縮によって、授業時数の確保に取り組んでおります。3月までの授業時数を試算したところ、どの学年も学習指導要領に定められた授業時数には若干不足するものの、指導内容については概ね年度内に履修可能であることを見込んでおります。また、日常の授業では極端に授業のペースが早くなり詰め込みにならないよう配慮しております。ご承知おきください。



★デッキブラシでトイレそうじ★

南宮中ギャラリー



<学習相談(8月19日~21日)>

「マスク(飛沫感染)・手洗い(接触感染)
思いやり(心のケア)」

